

平成30年度宇都宮大学大学院 入学料免除・徴収猶予申請要項

注意事項

1. この要項をよく読み、申請に必要な書類を揃えて、受付期間（入学手続期間）に提出してください。受付期間を過ぎた場合は、いかなる理由があっても受け付けません。一部書類について当該期間に揃えられない場合には、書類の種類と提出予定日を記載して添えてください。
2. 提出書類に不備がある場合には、申請を受け付けられないことがあります。また、提出書類の記入内容が故意に事実と相違している場合は、免除申請を取り消すとともに、以後一切の入学料・授業料の免除（徴収猶予含む）申請を受け付けません。
3. 提出する書類は全て、マイナンバー（個人番号）が記載されていないものをご用意ください。
4. 選考過程で必要と判断された場合、「申請受付票」に掲載されていない書類の提出をお願いすることがあります。
5. 提出された書類は返却できません。
6. 選考結果が決定されるまでの間、入学料の納付が猶予されます。一旦納付された入学料は返還できませんので、選考結果が出る前に納付しないよう注意してください。
7. 申請内容の確認等のため、担当係から連絡することがあります。必ず電話に出るようにしてください。不在着信があった場合は、速やかに折り返しの連絡をお願いします。
学務部学生支援課 電話番号 028-649-5102
学務部陽東分室 電話番号 028-689-6013



入学料免除・徴収猶予申請について

1. 入学料免除・徴収猶予

(1) 対象者

●東日本大震災等により被害を受けた者

- ・主たる家計支持者（原則として父母。父母がいないときは、これに代わって家計を支える者のうち所得金額の最も多い人。以下「家計支持者」と言います。）が、東北地方太平洋沖地震（平成23年3月11日）、長野県北部地震（平成23年3月12日）および熊本地震（平成28年4月14日）（以下「東日本大震災等」と言います。）による災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用地域（東京都内を除く。）に居住している場合または居住していた場合で、次のいずれかに該当する者。

ア 家計支持者の居住する家屋について、東日本大震災等により、市町村から次のいずれかの「罹災証明書」を交付される者。

(ア) 全壊

(イ) 大規模半壊

(ウ) 半壊

イ 家計支持者が、東日本大震災等時において、原子力災害対策特別措置法（平成11年法律第156号）に基づき定められた次のいずれかの区域に居住していた者。

(ア) 警戒区域

(イ) 計画的避難区域

(ウ) 緊急時避難準備区域

- ・家計支持者が、東日本大震災等により死亡または行方不明となった者。

●経済的理由がある者

- ・経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者。

●特別な事情がある者

- ・入学前1年以内において、学生の学資負担者（申請者の学資を主として負担している方）が死亡し、または学生もしくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付が著しく困難であると認められる者。

ただし、退職金、生命保険金等の受給があり、納付が著しく困難と認められない場合は、免除の対象とならないことがあります。

- ・上記に準ずる場合であって、学長が特に必要と認める事由がある者。

◎免除の対象とならない者

- ・科目等履修生、研究生、特別聴講学生、国費外国人留学生、外国政府派遣留学生
- ・教職大学院に在学する派遣学生（県教委から派遣される現職教員）。

(2) 免除の額および徴収猶予の期限

免除が認められた場合は、入学料の全額または半額の額が免除されます。徴収猶予が認められた場合は、4月入学の場合7月31日まで（土日祝日にあたる場合はその前の平日まで）、10月入学の場合1月31日まで（土日祝日にあたる場合はその前の平日まで）入学料の納付が猶予されます。

2. 選考結果

4月入学の場合は5月下旬に、10月入学の場合は11月下旬に、郵送で選考結果をお知らせします。

選考結果が、半額免除または不許可の場合は、その告知をされた日から14日以内に、送付された振込依頼書により所定の額を納付していただきます。期日までに納付がない場合、宇都宮大学大学院学則第25条の規定により除籍となります。

3. 申請の受付期間および申請方法

申請に必要な書類（「申請受付票」参照）をすべてそろえて申請してください。受付期間を過ぎての相談、申請は一切受けません。

研究科	受付期間	申請方法
国際学 教育学 農学	入学手続き期間内 9:00~16:00 (12:00~13:00を除く)	「申請に必要な書類」（「申請受付票」参照）をそろえ、入学手続き関係書類とともに「入学手続き書類送付用封筒」に同封し、入試課に郵送もしくは持参してください。
工学		「申請に必要な書類」（「申請受付票」参照）をそろえ、入学手続き関係書類とともに「入学手続き書類送付用封筒」に同封し、学務部陽東分室学生係に郵送もしくは持参してください。

4. 申請に必要な書類

- ①申請受付票（様式 10-1）
- ②入学料免除願・入学料徴収猶予願（様式 10-2）
- ③家庭状況調書（様式 10-3）
- ④世帯全員分の「住民票謄本」3か月以内に発行されたもの
- ⑤市区町村発行の「所得証明書」（発行できる最新年のもの）3か月以内に発行されたもの
- ⑥392円分の切手
- ⑦源泉徴収票、確定申告書や離職者、転職者がいる場合の必要とする書類等「申請受付票」の各項目に該当する場合の書類

※必ず「申請受付票」を確認のうえ、「申請受付票」上の該当する項目の書類をすべて提出してください。

※提出された書類は返却できませんので、必要な方は必ずコピーをとっておいてください。

記 入 要 領

1. 記入は、**黒インクか黒ボールペン**を使用してください。鉛筆書きは受け付けません。
 2. 記入内容は、4月入学の場合は、平成30年4月1日現在、10月入学の場合は平成30年10月1日現在の状況（見込みを含む）を記入してください。
 3. **写しの提出が認められている書類**については、**A4サイズ**の用紙にコピーしてください。拡大したり切り取ったりする必要はありません。A4サイズより小さい場合は、A4サイズの白い用紙に糊付けして大きさを揃えてください。
 4. 「家庭状況調書」（様式10-3）は、選考上の大切な資料となります。以下の事項に注意して正しく記入してください。
 - **太枠内は大学で使用する欄のため、何も記入しないでください。**
 - 同居、別居、住民票上の世帯を問わず、申請者と「生計を同一にする者」全員について、「就学者を除く家族」と「就学者」に分けて記入してください。
 - 同居している人はすべて、原則「生計を同一にする者」に該当します。
 - 申請者本人が独立生計者の場合は、「生計を同一にする者」と父母等についても記入してください。
 - ※独立生計者とは、次のすべてに該当する方です。
 - ア. 所得税法上、父母等の扶養親族でない者
 - イ. 父母等と別居している者
 - ウ. 本人に収入があり、所得申告がなされている者
- (1) 「就学者を除く家族」欄
- 「年齢」欄は4月入学の場合は、平成30年4月1日現在、10月入学の場合は平成30年10月1日現在で記入してください。
 - 「現在の職業」欄は、会社員、自営業、公務員、教員、主婦、家事手伝い、無職など、具体的に記入してください。
 - 「雇用形態」欄は、正社員、常勤、非正規、非常勤、パートなどを記入してください。
- (2) 「就学者（本人）」欄
- 申請者本人について、該当する数字を○で囲み、必要事項を記入してください。
- (3) 「就学者」欄
- 本人以外の就学者（休学中の者は除く）について記入してください。
 - 「在学学校」、「通学区分」欄は、該当する数字を○で囲んでください。
 - 国立学校および公立大学に在学している場合は、「前年度授業料免除結果」欄の該当する数字を○で囲んでください。
 - 予備校、各種学校、専修学校（一般課程）等に在学する者および休学者は、就学者に該当しないため「就学者を除く家族」欄に記入してください。
- (4) 「特別控除」欄
- 該当する項目がある場合は、該当項目の数字を○で囲み、必要事項を記入のうえ、「申請に必要な書類一覧」に記載されている書類を提出してください。

申請日	平成 年 月 日	研究科	氏名	大学受付印
携帯電話番号		受験番号		

1) 提出書類(証明書原本含む)には、各人の氏名横に続柄を記入すること。 2) 「①②・・・」と記載があるものは全て提出すること。 3) 写しの提出が認められているものについては、A4用紙に向きを揃えてコピーする。

全員提出する書類

※提出する書類の「本人チェック」欄に○を付けてください。

No	※	書類		入手先	本人 チェック	大学 チェック
1		「申請受付票」(本票)	必要事項を記入し、提出する書類の「本人チェック」欄に○を付けて提出する。	様式10-1		
2		「入学料免除願」 「入学料徴収猶予願」	日付は提出日を記入してください。該当する申請理由の数字を○で囲み、入学料の納付が困難な家庭事情について申請者本人が具体的に記入する。	様式10-2		
3		「家庭状況調書」	平成30年4月1日現在の状況(見込み含む)を記入する。太枠内は「大学使用欄」のため、何も記入しない。「家庭状況調書」に記入した「収入状況」「就学者」「特別控除」については、証明する書類が必要。	様式10-3		
4		世帯全員分の「住民票謄本」 ※戸籍謄本ではありません。	「家庭状況調書」(様式10-3)に記入した者全員分で「世帯全員の住民票の原本と相違ない」旨の証明があるものを提出してください。 ※同一家屋で住民票上の世帯を分けている場合は両世帯とも必要。 「家庭状況調書」(様式10-3)に記入する。	市区町村役場		
5		所得(課税・非課税)証明書 (発行可能な最新の年のもの) ※自治体によって名称が異なる。	「家庭状況調書」(様式10-3)に記入した就学者以外全員分(収入の有無に関わらず)必要。 収入・所得金額、課税金額、配偶者控除、扶養控除人員数について記載省略されないものを提出してください。 ※No10以降の書類に該当があれば、別途添付が必要。	市区町村役場		
6		返信用封筒(長3サイズ、392円分の切手を貼付)	選考結果送付先の住所・氏名(本人または保証人)を明記する。 ※選考結果の送付時(平成30年5月)に受け取れる住所を記入。			

申請者本人に関する書類(持参書類(証明書原本含む)には必ず続柄を欄外に目立つよう記入すること)

No	※	該当者	必要な書類	入手先	本人 チェック	大学 チェック
7		大学院生	「指導教員推薦調書」	様式10-4		
8		自宅外通学者 (実家から離れて生活している者)	現住所と氏名が記載されている公共料金(電気・ガス・水道)の領収書(写)等 ※上記がない場合は郵便物の写しても可(下宿や寮など)。 ※引越して間もない場合は、アパート等の賃貸契約書(写)でも可。 ※住居が未定の場合、決まり次第提出すること。	様式10-16		
9		独立生計者 ※次のすべてに該当する者 ア. 所得税法上、父母等の扶養親族でない者 イ. 父母等と別居している者 ウ. 本人に収入があり、所得申告がなされている者	① 父母等の住民票 ② 父母等の所得証明書 ③ 父母等の源泉徴収票(写)もしくは確定申告書(第一表と第二表)(写) (父母等の所得税法上の扶養親族でないことが分かるもの) ④ 申請者本人(および配偶者)の所得証明書 ⑤ 申請者本人(および配偶者)の源泉徴収票(写)もしくは最近3か月の給与明細書(アルバイト含む)(写) ⑥ 申請者本人の健康保険証(写) ⑦ 「経済・生活状況申告書」(様式10-10)			

家族に関する書類(持参書類(証明書原本含む)には必ず続柄を欄外に目立つよう記入すること)

10		会社等に勤務し、給与所得のある者	平成29年分源泉徴収票(写) ※写しはA4用紙に原寸大コピー	勤務先		
11		給与所得者で平成29年1月2日以降に新たに就職した者 (パートタイム勤務を含む)	① 最近3か月分の給与明細書(写)もしくは「年収見込証明書」(様式10-12) ② 雇用形態や労働条件が確認できる書類(採用辞令、労働条件通知書等の写し) ※写しはA4用紙に原寸大コピー	勤務先		
12		商・工・農・林・水産業、その他の事業所得者および利子・配当・不動産・雑所得のある者	○確定申告をしている場合: 29年分確定申告書(第一表と第二表、収支内訳書もしくは青色申告決算書)(写) (税務署の受付印があるもの。電子申告の場合、受信通知メールを添付か、申告書の上部に受付日時・受付番号が記載されているもの) ○確定申告をしていない場合: 30年度分市区町村・県民税申告書(両面の写)	税務署 市区町村役場		
13		同族会社等で給与収入の形態をとっている者	① 損益計算書(写) ② 貸借対照表(写)	経営 主体者		
14		農業者戸別所得補償制度に基づく交付を受けている者	受給金額が分かる証明書(確定申告書等で証明できる場合は不要)	市区町村役場		
15		年金または恩給受給者 (傷病手当等も含む)	次のいずれかで受給額が証明できるもの ・平成29年分の源泉徴収票(写)・支払通知書(写) ※新たに年金を受給する場合は、受給証明書 (入手先: 都道府県保険課・日本年金機構・勤務先など) ※写しはA4用紙に原寸大コピー	書類欄 に掲載		
16		各種手当受給者	受給額が証明できるもの(児童扶養手当など) ※「児童手当」は不要 ※写しはA4用紙に原寸大コピー	市区町村役場		
17		平成29年4月~平成30年3月に臨時的な所得を得た者	退職金、保険金、資産譲渡、山林所得など、決定もしくは支給された臨時的な所得を証明できるもの ※写しはA4用紙に原寸大コピー	勤務先 保険会社等		

N O	※	該当者	必要な書類	入手先	本人 チェック	大学 チェック
18		平成29年1月1日～平成30年の申請受付期間最終日までに退職した者および退職を予定している者	①退職(予定)証明書(写)および退職金支払(見込)証明書(写) ※退職金が支払われない場合は、その旨の証明書 ②年金見込み証明書(年金の受給予定している場合) ※退職した勤務先から証明書をもらえない事情がある場合(すでに会社が無くなっている等)、「退職申立書」(様式10-17)を大学から受け取り作成すること。	勤務先 様式10-14		
19		失職者	雇用保険受給資格者証(両面の写)(氏名および受給額が分かるもの)	職業 安定所		
20		無職・無収入の者	「無職・無収入申立書」(就学者を除く、18歳以上65歳未満) (どちらか一方に該当する場合は提出が必要です。)	様式10-5		
21		世帯の住民票に記載されているが、実際は別の住所(家屋)に住んでおり別生計の者	「別生計申立書」(現住所が記載されている公共料金(電気、ガス、水道)の領収書(写)等を添付)	様式10-6		
22		自宅外通学をしている就学者	現住所が記載されている公共料金(電気、ガス、水道)の領収書(写)等もしくは アパート等の賃貸契約書(写)	様式10-16		
23		国立の高等学校以上および公立大学に在学している者	「授業料免除実施状況及び在学証明書」	様式10-7 在学学校		
24		専修・専門学校・私立大学に在学している者	在学証明書	在学 学校		

特別控除に関する書類(持参書類には必ず続柄を欄外に目立つよう記入すること)

25		母子・父子世帯等	「母子・父子世帯等申立書」	様式10-8		
26		生活保護世帯	保護決定通知書、生活保護受給証明書など受給額が分かるもの ※A4用紙に原寸大コピー	社会福祉 事務所		
27		障害者がいる世帯	障害者手帳(写)、戦傷病者手帳(写)など	市区町村 役場		
28		長期療養者がいる世帯(6か月以上療養中の者・6か月以上の療養を必要とする者)	・「長期療養者証明書」(様式10-9:病院) ・生命保険、医療保険等から補てんされた金額の証明書(入手先:保険会社等) ・高額療養費制度等の公的医療保険(健康保険、共済組合等)から補てんされた金額の証明書(入手先:勤務先等の公的医療保険取扱先)	様式10-9 保険会社 勤務先等		
29		主たる家計支持者が別居している世帯(単身赴任等含む)	特別に支出している居住費、光熱水道費の本人支出額を証明できるもの ※単身赴任の場合は給与明細も添付	様式10-15		
30		火災、自然災害、盗難等の被害を受けた世帯	①罹災証明書、被災証明書、損害額算定書など ②保険、損害賠償等による補てん額を証明するもの (入手先:市区町村役場・消防署・警察署)	書類欄 に掲載		
31		学資負担者が死亡したことにより申請する場合	当該学資負担者の住民票除票	市区町村 役場		

私費外国人留学生は以下の書類のみ(配偶者がいる場合は、配偶者のNo.6~10の書類も提出してください)

N O	※	必要な書類	入手先	本人 チェック	大学 チェック
1		「申請受付票」(本票)	必要事項を記入し、提出する書類の「本人チェック」欄に○を付けて提出してください。	様式10-1	
2		「入学料免除願」 「入学料徴収猶予願」	日付は提出日を記入してください。該当する申請理由の数字を○で囲み、入学料の納付が困難な家庭事情について申請者本人が具体的に記入する。	様式10-2	
3		「家庭状況調書」	平成30年4月1日現在の状況(見込み含む)を記入する。 太枠内は「大学使用欄」のため、何も記入しない。	様式10-3	
4		「指導教員推薦調書」		様式10-4	
5		「経済・生活状況申告書」		様式10-10	
6		市区町村発行の「所得証明書」(最新のもの)		市区町村 役場	
7		申請直近1年間分の預金通帳(給与の振込、家賃・電気・ガス・水道・通信費等の支出が分かるもの) (写)(光熱費等が現金払いの場合は領収書(写)をA4サイズ用の紙で作成し提出する。)通帳が複数ある場合は、すべて提出する。			
8		在留カード(両面)(写) (もしくはパスポートの「顔写真・氏名」と「ビザの在留資格」の部分(写)と外国人登録証(写))			
9		最近3か月分のアルバイト等の給与明細(写)もしくは「アルバイト実施状況証明書」 ※写しはA4用紙に原寸大コピー ※新しくアルバイトが始まる場合は、給与の見込み額が分かるものを提出する。		様式10-11	
10		本国の親族等からの送金額が分かる書類			
11		返信用封筒(長3サイズ、392円分の切手を貼付) ※選考結果の送付は平成30年5月			

大学 不足書類※ 再提出 再々提出 受付完了 担当者 連絡事項
使用欄 有・無 / / / 様式10-1

宇都宮大学大学院

 入学料免除願 入学料徴収猶予願

(申請する項目の□にシ点を記入してください。記入がない場合は、免除と猶予の併願として取り扱わせていただきます。)

宇都宮大学長 殿

平成 年 月 日

申請者	所属	平成 年 月 入学	受験番号
			旧学籍番号 (本学出身者のみ)
		国際・教育・工・農 学研究科	専攻・専修
氏名 (本人署名)	印	電話番号	— —
	〒	現住所	
父母等	氏名 (本人署名)	印	続柄 電話番号 — —
	住所	〒	

下記の理由により入学料の納付が困難なため、入学料の免除・徴収猶予（申請する項目を○で囲んでください。）を申請いたします。また、選考結果が決定されるまでの間は、入学料の徴収を猶予くださるよう併せてお願いいたします。

なお、選考の結果が全額免除以外の場合は、定められた期日までに所定の額を納付いたします。

記

申請理由

該当する申請理由の数字を○で囲み、必要事項を記入してください。

1. 経済的理由

2. 学資負担者の死亡（続柄： 死亡年月日：平成 年 月 日）

3. 風水害等の罹災（罹災の種類： 罹災年月日：平成 年 月 日）

家庭事情 納付が困難な家庭事情およびその他説明を要することを、申請者本人が具体的に記入してください。

家庭状況調査書 ※太枠内は記入しないこと 様式10-3

受験番号		研究科				氏名			
続柄	氏名	年齢	現在の職業	就業年月	雇用形態	給与収入 税込(千円)	給与以外 税込(千円)	非課税	課税
本人			学生	昭和 平成 年 月～					
就学者を除く家族※NO5が必要	父			昭和 平成 年 月～					
	母			昭和 平成 年 月～					
				昭和 平成 年 月～					
				昭和 平成 年 月～					
				昭和 平成 年 月～					

遺族年金 父・母死亡の場合 有・無 祖父・祖母死亡の場合 有・無

平成29年の収入状況	本人 (千円)	父 (千円)	母 (千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
給与収入	給与・賞金・役員報酬						
	専従者給与						
	年金・恩給						
	雇用保険・生活扶助・手当						
	その他						
計							
給与収入以外所得	自営業(商・工・農林・水産)						
	家賃・地代・配当・利子						
	アルバイト・内職						
	退職金・保険金						
	その他						
計							

本人	通学区分	1. 自宅 2. 自宅外	奨学金 受給状況 (月額)	1. 日本学生支援機構(貸与) 一種 _____千円 二種 _____千円/月 2. 日本学生支援機構(給付型) _____千円/月 3. 日本学生支援機構(学習奨励費) _____千円/月 ※留学生 4. その他() 貸与・給付 _____千円/月 5. その他() 貸与・給付 _____千円/月	奨学金 貸与 _____千円 給付 _____千円		
	過去の授業料 免除状況	29年度前期 29年度後期	1. 申請無 2. 全額免除 3. 半額免除 4. 不許可	1. 申請無 2. 全額免除 3. 半額免除 4. 不許可			
就学者	申請者が大学院1年生である場合 卒業大学	1. 日本国外の大学 2. 日本国内の大学()			国内卒業 成績表 有・無		
	※自宅 校外に通学 者には要 様式10 証明書 16	続柄	氏名	在学学校 ※該当に○を付ける。 設置区分 学校区分 学年 年齢	前年度授業料免除結果 (様式10-7提出者) 前期 後期 1. 無 1. 無 2. 全額 2. 全額 3. 半額 3. 半額 4. 一部 4. 一部		
				1小 2中 3高校 4大学・院 5高専 6. 専修学校(高等課程) 7. 専修学校(専門課程)	1. 自宅 2. 自宅外		
				1小 2中 4高校 2. 国立 4大学・院 6高専 3. 公立 7. 専修学校(高等課程) 4. 私立 8. 専修学校(専門課程)	1. 自宅 2. 自宅外		
				1小 2中 5高校 3. 国立 4大学・院 7高専 4. 公立 8. 専修学校(高等課程) 5. 私立 9. 専修学校(専門課程)	1. 自宅 2. 自宅外		
特別 控除	母子・父子世帯	1. 父または母と18歳未満の子(18歳以上の就学者を含む)のみの世帯 2. 父または母および60歳以上の祖父母と18歳未満の子(18歳以上の就学者を含む)のみの世帯 3. 18歳未満の子の世帯 4. 祖父母と18歳未満の子の世帯 5. その他			1. 該当 2. なし		
	障害者がいる 世帯	氏名	手帳番号	身体,精神,知的障害・公害疾病・原爆被爆(障害 有・無)	人		
		氏名	手帳番号	身体,精神,知的障害・公害疾病・原爆被爆(障害 有・無)			
	長期療養者が いる世帯	氏名	1か月平均の治療費 _____千円	療養期間 年 月から 入院・通院・自宅就床・要介護(3~5)	合計(年額) 千円		
		氏名	1か月平均の治療費 _____千円	療養期間 年 月から 入院・通院・自宅就床・要介護(3~5)			
学資負担者別居	1か月当たりの住居・光熱水料 _____千円			千円			
風水害等の災害 を受けた世帯	被害内容 _____ 罹災年月日平成 年 月 日 被害の程度			千円			
大学 使用欄	申請 区分	1. 特別事情(死亡・災害・その他) 2. 経済的理由		入試成績	学力基準	家計基準	総合判定
		独立生計・生活保護・給付型奨学金・社会的養護		家族数 人	住民税所得割 非課税世帯		

指導教員推薦調書 (大学院生)

指導教員所見 (特記事項があればご記入ください。)

.....
.....
.....
.....

平成 年 月 日

指導教員 署名 _____ 印 _____

免除・徴収猶予申請者記入欄 (記入後、指導教員に署名・押印を願い出てください。)

宇都宮大学大学院
国際学・教育学・工学・農学 研究科 _____ 専攻 _____ 年
氏 名 _____

1. 研究テーマ

.....
.....
.....

2. 目的

.....
.....
.....

3. これまでの成果

.....
.....
.....
.....
.....

4. 今後の計画

.....
.....
.....
.....
.....

無職・無収入申立書

平成 年 月 日

宇都宮大学長 殿

申立人氏名

申請者との続柄

生年月日 年 月 日 (歳)

申請者：学籍番号 (新入生は受験番号)

氏名

私は、下記のとおり無職・無収入であることを申し立てます。

記

1. 理由

無職となった年月(平成 年 月) 就職見込みの有無(有 ・ 無)

2. 前職の有無 (平成29年1月1日以降に退職した場合は、申請受付票NO18を参照し、必要書類を提出してください)

- 有 (前勤務先：)
- 無 (在職期間： 年 月 日 ~ 年 月 日)

3. 退職金の有無

- 有 (申請前6か月間に支払いを受けた場合は、申請受付票NO17を参照し、支払額・支払時期が分かるものを添付してください。)
- 無

4. 年金の有無

- 有 (受給額が分かるものを添付してください。) 無

5. 失業保険の有無

- 有 (受給額が分かるものを添付してください。) 無

6. その他生活費の出所 (貯金、配偶者の収入等 具体的に記入してください。)

別生計申立書

※住民票に記載があるが実家から独立した兄弟姉妹等が該当します。

平成 年 月 日

宇都宮大学長 殿

申立人氏名

申請者との続柄

生年月日 年 月 日 (歳)

申請者：学籍番号 (新入生は受験番号)

氏名

私は、下記のとおり申請者とは別生計であることを申し立てます。

記

1. 理由 例:就職して実家から離れ、独立して生計を立てるようになったため。

2. 住所

住民票記載の住所 :
現住所 :

※ 現住所と氏名 が記載されている公共料金の領収書 (写) 等を添付してください。

授業料免除等事務担当者 殿

在学学校名

所属学部

年

学籍番号

氏名

(宇都宮大学生の兄弟姉妹等の名)

このたび、宇都宮大学 () ※学部・研究科 に在学する私の兄弟姉妹
 (宇都宮大学生氏名 学籍番号) が授業料免除・徴収
 猶予を申請するにあたり、私の授業料免除実施状況について下記により証明いただきますよう
 お願いいたします。(※の部分、所属学部・研究科を○で囲んでください。)

授業料免除実施状況及び在学証明書

1. 入学年度 平成 年 月 入学 編入学
2. 学校の設置者 国立大学法人 国立高等専門学校機構 その他 ()
3. 通学区分 自宅 自宅外
4. 授業料年額 円
5. 授業料免除の有無と実施状況

平成29年度授業料免除実施状況		
	<input type="checkbox"/> 平成30年度入学のため該当なし なお、平成30年度大学院入学者で当該大学からの進学者は、 以下についても証明願います。	
前期	<input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 不許可 <input type="checkbox"/> 申請なし	免除額 円
後期	<input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 不許可 <input type="checkbox"/> 申請なし	免除額 円

(該当する項目にチェックし、必要事項をご記入ください。)

上記のとおり証明します。

平成 年 月 日

学校名

担当課・係名

担当者氏名

印

※平成30年4月1日以降も在学する者について証明をお願いいたします。

※不明な点がございましたら、宇都宮大学学生支援課奨学支援係(電話028-649-5102)までお問い合わせください。

母子・父子世帯等申立書

平成 年 月 日

宇都宮大学長 殿

学籍番号 (新入生は受験番号) _____

氏 名 _____

授業料免除・徴収猶予を申請するにあたり、下記のとおり申し立てます。

記

該当する口にシ点を付けてください。

<input type="checkbox"/>	父または母と18歳未満の子（18歳以上の就学者および長期に療養を要する、心身に障害がある等で経済力のない者も18歳未満の子として扱う。以下同じ。）のみの世帯
<input type="checkbox"/>	父または母および60歳以上の祖父母（祖父または祖母のみの場合を含む。）と18歳未満の子の世帯であって、祖父母に経済力がなく（前年の所得金額が50万円以下。以下同じ。）父または母が扶養している世帯
<input type="checkbox"/>	18歳未満の子の世帯
<input type="checkbox"/>	祖父母と18歳未満の子の世帯
<input type="checkbox"/>	配偶者のいない兄弟と18歳未満の子の世帯
<input type="checkbox"/>	配偶者のいない兄弟と18歳未満の子および60歳以上で経済力のない祖父母の世帯

受給のない場合も、該当する口にシ点を付けてください。

1. 離別の場合

父または母より養育費等の援助の有無

 有

（続柄）（氏名）より（月額）円の援助がある。

 無

2. 死別の場合

遺族年金および保険金受給の有無

 有（受給額が分かるものを添付してください。） 無

3. 児童扶養手当受給の有無 ※「児童手当」とは別です。

 有（受給額が分かるものを添付してください。） 無

4. 祖父母等からの援助およびその他援助の有無

 有

（続柄）（氏名）より（月額）円の援助がある。

 無

長期療養者証明書

※医療機関で証明を受けてください。

平成 年 月 日

(医療機関名)

殿

申請者 住 所 _____

氏 名 _____ 印 _____

(学籍番号 _____)

宇都宮大学の授業料免除・徴収猶予を申請するにあたり、下記事項について証明願います。

記

療養者名	申請者との続柄：	
傷病名		
診 療	初診： 年 月 日	向後要療養： 年 月 ごろまで
本人負担額	円	近況1年間分
<p>上記のとおり相違ないことを証明します。</p> <p style="text-align: right;">平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">医療機関名</p> <p style="text-align: center;">医 師 名 _____ 印 _____</p>		

1. 申請時現在において、6か月以上にわたる期間療養中の者、または療養を必要と認められる者について証明願います。
2. 「本人負担額」の欄は、①診察料、②入院料、③医薬品代等の本人が負担した合計額を記入してください。
3. 健康保険等によって医療給付（高額療養費等）を受ける金額および損害賠償等によって補てんされる金額は除いてください。

アルバイト実施状況証明書

※アルバイト先の証明を受けてください。

宇都宮大学の授業料免除・徴収猶予を申請するにあたりアルバイト収入額の証明が必要
 ですので、最近3か月分の支払い状況を下記に証明くださるようお願いいたします。

支払いを受ける者	住所	職 種	家庭教師・その他（ ）	
		学部・ 研究科等	学部 研究科	学科（課程） 専攻
		学 年		
		学籍番号		
		氏 名		
平成		年	月	円
平成		年	月	円
平成		年	月	円
計				円
支払方法 ※どちらかに「○」を付ける		銀行振込 ・ 手渡		
支払者	住所（居所） または所在地	（電話）		
	氏名または 名称			

年収見込証明書

※平成29年1月2日以降に就職し、現在も勤務している勤務先があれば証明を受けてください。

氏名		
住所	〒 ー 電話番号	
生年月日	昭和・平成 年 月 日生	
入社日	平成 年 月 日	
給与支給月額（見込み） (円)	1月 _____ 2月 _____ 3月 _____ 4月 _____ 5月 _____ 6月 _____	7月 _____ 8月 _____ 9月 _____ 10月 _____ 11月 _____ 12月 _____ 合 計 _____
賞与（ボーナス） (円)	_____ (月) _____ (月) _____ (月) 合 計 _____	
<p>上記のとおり証明します。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>会 社 名 _____ 印</p> <p>所 在 地 _____</p> <p>電 話 番 号 _____</p> <p>担 当 者 _____</p>		

※記入上の注意

- 給与支給月額については、非課税の通勤手当を除く全ての支給額を記入してください。
- 給与の支給実績がない場合は、支給予定額を記入してください。
- 証明印は会社印（支店又は営業所印でも可）をお願いします。
なお、不明な点がありましたら下記までお問い合わせください。
宇都宮大学学務部学生支援課 電話 028-649-5102

主たる家計支持者が別居している世帯（単身赴任等を含む）

平成 年 月 日

宇都宮大学長 殿

申立人氏名

申請者との続柄

生年月日 年 月 日（ 歳）

申請者：学籍番号（新入生は受験番号）

氏名

私は、申請者家族とは生計を一にしていますが、別居していることを申し立てます。

記

1. 理由

--

2. 住所

住民票記載の住所 :
現住所 :

3. 特別に支出している居住費、光熱水道費の本人負担額

1カ月分の本人負担額： _____ 円
内訳：支払金額： _____ 円
補てん額（事業費（経費）、会社負担額、住居手当等）： _____ 円

4. 特別に支出している居住費、光熱水道費の本人負担額を証明できるもの（写）を添付

※上記3の裏付ける証明書類で自己申告は認められない。

※ A4 サイズに満たない場合は、A4 サイズの用紙に糊付けするか、A4サイズの用紙で写しを作成してください。

※ 証明書類には、現住所、氏名が記載されていること。

※ 単身赴任の場合は給与明細も添付。

自宅外通学をしている就学者

平成 年 月 日

宇都宮大学長 殿

申立人氏名

申請者との続柄

生年月日 年 月 日 (歳)

申請者：学籍番号 (新入生は受験番号)

氏名

私は、下記添付書類のとおり、現在自宅外通学をしています。

記

1. 住 所

住民票記載の住所 :
現 住 所 :

添付書類を貼ってください。

※ 現住所と学生氏名が記載されている直近の公共料金の領収書（写）等を貼って
してください。

上記がない場合は、郵便物の写しでも可（下宿や寮など）です。

引っ越して間もない場合は、アパート等の賃貸契約書（写）を添付してください。

※ この貼り付け欄より大きい場合は、A4サイズ用の紙に糊付けするか、A4サイズの
用の紙で領収書（写）等を作成し、この用紙とホチキス止めしてください。

※ この書類は実際にその場所で生活していることを示すものです。

記入例

家庭状況調書

※太枠内は記入しないこと

様式10-3

受験番号			研究科			氏名			
続柄	氏名	年齢	現在の職業	就業年月	雇用形態	給与収入 税込(千円)	給与以外 税込(千円)	非課税	課税
本人	宇都宮 三郎	21	学生	昭和 平成 年 月~					
就学者を除く家族 ※NO5が必要	父	宇都宮 太郎	50	会社員	昭和 平成 5年 4月~				
	母	宇都宮 一代	49	会社員	昭和 平成 24年 4月~				
	祖父	宇都宮 一郎	75	農業	昭和 平成 60年 6月~				
	兄	宇都宮 次郎	25	会社員	昭和 平成 28年 4月~				
	弟	宇都宮 四郎	19	無職	昭和 平成 29年 4月~				
				昭和 平成 年 月~					

「就学者を除く家族」については、所得証明書の他、源泉徴収票や確定申告書、年金の支払い通知書等の写しが必要。申請受付票NO10以下で該当のものを提出すること。

予備校生、休学者は「就学者を除く家族」に記入する。

平成29年の収入状況		本人 (千円)	父 (千円)	母 (千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
給与収入	給与・賞金・役員報酬							
	専従者給与							
	年金・恩給							
	雇用保険・生活扶助・手当							
	その他							
	計							
給与収入以外の所得	自営業(商・工・農林・水産)							
	家賃・地代・配当・利子							
	アルバイト・内職							
	退職金・保険金							
	その他							
	計							

太枠内は大学使用欄のため、何も記入しないこと。

実際の振込金額ではなく貸与月額を記入。

本人	通学区分	① 自宅 ② 自宅外	奨学金 受給状況 (月額)	① 日本学生支援機構(貸与) 種 51千円/月二種 千円/月 ② 日本学生支援機構(給付型) 千円/月 ③ 日本学生支援機構(学習奨励費) 千円/月 ※留学生 ④ その他() 貸与・給付 千円/月 ⑤ その他() 貸与・給付 千円/月	奨学金 貸与 千円 給付 千円		
	過去の授業料 免除状況	29年度前期 29年度後期	1. 申請無 2. 全額免除 3. 半額免除 4. 不許可				
	申請者が大学院1年生である場合 卒業大学		1. 申請無 2. 全額免除 3. 半額免除 4. 不許可				
	申請者が大学院1年生である場合 卒業大学		1. 日本国外の大学 2. 日本国内の大学()		国内卒業 成績表 有・無		
	申請者が大学院1年生である場合 卒業大学		1. 日本国外の大学 2. 日本国内の大学()		国内卒業 成績表 有・無		
就学者	続柄	氏名	在学学校 ※該当に○を付ける。	学年 年齢	通学区分	前年度授業料免除結果 (様式10-7提出者)	授業料年額
	宇都宮 三代	宇都宮 三代	1. 国立 2. 公立 3. 私立 4. 大学・院 5. 高専 6. 専修学校(高等課程) 7. 専修学校(専門課程)	3年 20才	1. 自宅 2. 自宅外	前期 1. 無 2. 全額 3. 半額 4. 一部 後期 1. 無 2. 全額 3. 半額 4. 一部	千円
			1. 国立の高等学校以上および公立大学に在学している者は、様式10-7の提出が必要。 2. 専修・専門学校、私立大学に在学している者は、在学証明書が必要。 3. 自宅外通学者は、様式10-16の提出が必要。				
			5. 私立 9. 専修学校(専門課程)				
			1小 2中 3高校 4大学・院 5高専 6専修学校(高等課程) 7専修学校(専門課程) 8高専 9専修学校(高等課程) 10専修学校(専門課程)				
特別 控 除	母子・父子世帯	1. 父または母と18歳未満の子(18歳以上の就学者を含む)のみの世帯 2. 父または母および60歳以上の祖父母と18歳未満の子(18歳以上の就学者を含む)のみの世帯 3. 18歳未満の子の世帯 4. 祖父母と18歳未満の子の世帯 5. その他				1. 該当 2. なし	
	障害者がいる世帯	氏名 宇都宮 一郎 手帳番号	身体、精神、知的障害・公害疾病・原爆被爆(障害 有・無)			人	
	長期療養者がいる世帯	氏名	1か月平均の治療費 千円	療養期間 年 月から 入院・通院・自宅就床・要介護(3~5)	合計(年額)		
	学費負担者別居	氏名	1か月平均の治療費 千円	療養期間 年 月から 入院・通院・自宅就床・要介護(3~5)	千円		
	風水害等の災害を受けた世帯	被害内容	罹災年月日平成 年 月 日	被害の程度	千円		
大学 使用欄	申請 区分	1. 特別事情(死亡・災害・その他) 2. 経済的理由		家族数	人	住民税所得割 非課税世帯	入試成績 学力基準 家計基準 総合判定